

新入職員の皆さん、入職おめでとうございます。社会医療法人 同仁会 理事長の田端です。皆さんのみみはらグループへの入職を心から歓迎いたします。

みみはらグループは、無差別・平等の医療・介護・福祉・地域活動を総合的に提供し、安心して住み続けられるまちづくりを行う事業体として、堺から高石地域において「なくてはならない」役割を果たしています。1950年の耳原実費診療所から始まったこの無差別・平等の事業は、今年で73年を迎えました。

コロナの3年間を経て、貧困と格差が地域にますます広がっています。私たちは、お金のあるなしで医療を受ける権利が妨げられないよう、創立以来、差額ベッド代を頂かず病院運営をしています。また、同仁会では無料低額診療事業というのを行っています。これは、経済的理由により医療費の支払いが困難な方に対して、無料または低額の料金で医療を提供する制度で、患者さんから頂かなかった自己負担分は医療機関が負担します。堺市内では同仁会の医科・歯科全ての事業所と、法人外で一つの病院が行っていますが、私たちの無料低額診療の規模の方が圧倒的に大きいのが実情です。

この無料低額診療を利用される方は、5年前の2018年にはひと月に約20名程度であったのが、現在ではひと月約120名と6倍にも増えています。「コロナで解雇され、国民健康保険料が高すぎて払えません」、「8年前から車で生活していますが、一日二食、うどんをくたくたに炊くと水分を吸ってお腹が膨れます」、「子供を育てるためダブルワークをしていたが、身体を壊してどうしてよいかわかりません」、「夫婦ともに高齢で病気を多く抱えているが、障害を持った子どもを自分たちが介護しており、もうどうしようもない」。お一人お一人の抱える状況には、本当に胸が詰まります。

私たちは「フードバンクみみはら」を、多くの方々のご協力を得て、定期的を開催しています。小さなお子さんの手を引いた女性の姿。遠方から自転車をこいでフードバンクに来られた非正規労働の若い男性。荷物を持って帰れるのか心配になるようなご高齢の方。生理用品を前に小躍りして喜ばれている若い女性たち。このような風景が日常になってしまった、今の政治には大きな憤りを感じます。私たちが「無差別・平等」の旗を高く掲げ、一人でも多くの方に、手遅れになる前に医療を受けていただく事業を行っていることは、とても大きな社会的意義があります。また、私たちは、「いのちと暮らしを守る政治」を求める活動を、医療・介護従事者の社会的責任として行っています。新入職員の皆さんは、これから各現場で、様々な困難を抱えた方々と接することになります。人権のアンテナを高く張り、地域の方たちが抱える困難に寄り添いながら、私たちが無差別・平等の事業を行っていることを誇りに思っ、共に歩んでいただきたいです。

みみはらグループは、現在2030年に向けた中期事業計画を練り上げているところで、その計画を「みみはら2030年の樹」と称しています。この堺の地でも少子高齢化がますます

進み、85歳以上の高齢者、とりわけ国民基礎年金しかない貧困女性高齢者がこれから激増します。そして高齢者の多死社会が到来しますが、その受け皿、すなわち尊厳を持って亡くられる場所が、地域には圧倒的に不足しています。このような状況に立ち向かい、いかに人間としての尊厳を保てる医療と介護を提供するのか。無差別・平等の事業を展開する「みみはらグループ」が本領を発揮すべき時です。グループ全体が担う役割を現在よりもさらに広げ、それぞれの力量をより高める事業計画を、皆さんとともに創り上げたいと思います。

中期事業計画の成功には、共に事業を担っていただける、多くの職員の育成が不可欠です。この度、みみはらグループに入職していただいた新入職員の皆さんには、心から感謝したい。皆さんは、コロナの中、大変な思いをしながら医療従事者・介護従事者になる準備をされてこられ、実習や送別会など十分に出来なかった方も多いかと思います。みみはらグループの職員一同、皆さんを大切に迎え入れ、全力で成長をサポートします。わからないこと、不安なことなど、遠慮せずに指導者や先輩職員に聞いていただければと思います。

また、この後ごあいさつを頂きますが、みみはらグループには、地域住民と職員とで構成された、地域での健康づくり、まちづくりを進めてゆく「健康友の会みみはら」があるのが大きな強みです。私は理事長になってから、26ある支部の訪問活動をずっと行ってきていますが、地域の方々との交流は大きな学びと元気をもらう機会になっています。是非皆さんも健康友の会みみはらにご入会いただき、地域での活動に足を運んでいただきたいです。

そして、皆さんには成長をあせらず、これからの医療人・介護人としての長い人生、ゆっくりと成長していただきたいと思います。患者さん・利用者さん・ご家族から大いに学んでください。同僚とも、ぜひ職種を超えて刺激しあっていただきたいと思います。

皆さんのこれからの成長を祈念して、私の歓迎のあいさつとさせていただきます。頑張ってください。

2023年4月1日

社会医療法人 同仁会
理事長 田端 志郎